

城下淵上流の瀬は補給源となる淵からアユが差し返す。かつては流れが分かれていたが現在は平瀬になっている



神路の長トロの下流にある割れ岩は岩盤周りを丁寧に泳がせると数が出る



和合橋の上流。高速橋から下流は中洲によって流れが分かれるが双方の流れともに好ポイント



和合橋より下流を見る。トロのやや下流で平瀬となる。特に馬の背周りは好ポイント



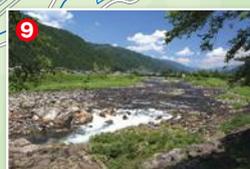
5 高速橋上の平瀬エリアも魚は濃い



7 釜淵橋の下流。深瀬が続き良型が揃う。変化に富み釣り返しが利くスポットが多い



6 杉ヶ瀬ヤナの入り口から見た流れ。本線は左岸により岩盤の深瀬が続く好釣り場



9 ウインドパーク前。落差の大きな荒瀬のすぐ上流はアユの密度が濃厚な好釣り場



8 釜淵橋上流の段々瀬は盛期から後期に見逃せないポイント。特に天然アユが多い時は落ち込みのツボを丁寧に探れば数が拾える

長良川の底力を感じるアユ豊富な激戦区

大和地区を中心としたエリア。中下流域に比べると近年は変化に乏しい川相となったが、それでも随所にアユの溜り場となる大淵が点在し、上下の瀬にアユが供給される。解禁から終盤まで安定した釣果が望め釣り人が絶えない。

中元橋上流の中元淵から割れ岩淵、城下淵、五輪淵と大淵が続くが、いずれも岩盤もしくは大石底部分を中心に泳がせ釣りであらう。淵と淵の間の瀬はいずれもしっかりと石が入って変化に富んだ流れとなっており、平水以上は引き釣り、濁水時には泳がせ釣りを混ぜて探る。

和合橋から上流、万場橋までの間は、エリアの中ほどに位置する奥長良ウインドパークを大会本部とするさまざまなアユ釣り大会が数多く開催されるポイントとなっており、下見の選手ははじめ常に釣り人でにぎわっている状態が続く。にもかかわらずたいはいはそれなりに釣れており、

03 中元橋 ↓ 梨畑